



取締役 奥本 雅宣

かつては営業マンとして病院に薬剤を卸す仕事に従事。大の動物好きで、犬や猫はもちろん、ヤギに至るまで豊富な飼育経験を持つ。その知識を活かしながら、現在は(株)犬猫プラネットで藤井社長のサポートを行っている。

代表取締役 藤井 亜莉沙

中学生の時に友人の犬を引き取ったことがきっかけで、動物の飼育や捨てられたペットの殺処分問題について強い関心を持つようになる。身寄りのないペットを救うためには、ボランティア活動だけでは追いつかないという想いから、預かったペットを飼い主の代わりに飼育する(株)犬猫プラネットを設立した。

飼えなくなったペットに安息を—— “生涯飼育”でかけがえのない命を繋ぐ

突然の事故や飼い主の高齢化などのやむを得ない事情で、飼い主が愛するペットを手放さなければならなくなった時、そのペットの生涯を代わりに見守る空間を提供している(株)犬猫プラネット。“生涯飼育”というシステムにける藤井社長の想いに、女優の杉田かおるさんが迫った。

あくまで飼い主はあなた

杉田 ペットを預かる施設を運営しているらしいと伺いましたが、ペットホテルのようなシステムなのですか？

藤井 いえ、旅行時などに短期でペットを預かるペットホテルと違い、私たちが手がけているのは“生涯飼育”。飼い主様がやむを得ない事情で手放さなければならなくなった愛犬・愛猫を、一生お預かりする施設です。

杉田 それはすごい！そのような施設があるとは知りませんでした。始められたきっかけは何だったのでしょうか。

藤井 高校生の時に、友達が飼えなくなった犬を引き取ったのがきっかけですね。「もし捨てられたら、保健所へ連れ

て行かれて殺されてしまう」という想いから、両親の許可を待たずに連れ帰りました(笑)。大学の卒論もペットの殺処分について研究しましたし、この道に進んだのは自然のことでした。

杉田 私も幼いころ、飼えなくなった犬を保健所に連れて行かれた辛い経験があります。子どもだった私は何もできず、それが未だに人生で1番の後悔として心に残っているんです。

奥本 どれだけペットを愛していても、思わぬ事故や環境の変化で手放さざるを得ないというケースは意外と多くあります。だからこそ、かけがえのないペットの命を守るために、私たちのような存在が必要なのだと思うのです。

藤井 ただ、引き取ると言っても“里親”

になるわけではありません。私たちはあくまで飼い主様の代理。ペットの毎日の安心と幸せを守りつつ、飼い主様にはいつでも会いに来て触れ合ってもらいたいというのが、私たちの基本姿勢です。

事業化は責任の表れ

杉田 素晴らしい取り組みだと思うのですが、たくさんのペットの生涯を見守るうえで、費用もかかるのでは？

奥本 おっしゃる通りで、例えば心ない人間に捨てられてしまった犬猫の保護活動はボランティアの方々が無償で手がけていますが、そのお預かりまでは手が回っていないのが現状。やはりきちんとお世話をするには費用がかかりますし、自分たちの生活にも当然お金は必要です。そこで私たちは、他のNPO法人と同じくペットを生涯お預かりするにあたり相応の対価を頂戴します。この点をご理解頂くことは簡単ではなく、ある時は「血統書付きの犬をあげるのにお金を取るのか」と、まるで私たちが悪いことをしているかのようにご叱責頂くこともありました。

藤井 かつてはお金だけもらって預かったペットを翌日に捨てるような心ない悪徳業者もいたらしく、それがお客様からの信用を得ることの難しさに繋がっているのかもしれませんが、私たちは飼育管理士や愛玩動物救命士などの各種資格を保有するプロフェッショナルとして、整った環境、正しい飼育でペットの快適な生活を提供しています。事業として代金を頂戴するというのは、「お預か



Guest Comment>>>

杉田 かおる (女優)

「命を預かる身として、飼い主様にも責任を持って頂きたい。そのうえで生じる困り事や悩みに関しては、私たちがなんとかします」と熱く語っていらっやっったお2人。力強く、けれど優しさにあふれた言葉が印象的でした。動物を愛する者の1人として、今後多くさんの飼い主・ペットの支えになってくださることを願っています。

Focus on the topic ペットたちの幸せを育む快適な屋内外施設



▲ 東京から2時間の茨城県銚田市にある(株)犬猫プラネットの飼育施設。日当たり良好、冷暖房完備の広々としたスペースで、預けられた犬や猫たちがのんびり暮らす。生活の様子は、写真付きで毎日ブログにアップされている(写真は猫専用の「ニャンズハウス」)

りしたペットを必ず幸せにする」という責任の表れでもあるのです。

杉田 強い意志を感じます。それに、ペットの生涯を自分で面倒を見た時にかかるお金と一緒に預けるのだと考えれば、代金を支払うことも理解できますよね。事業としてしっかりしているところのところが、私は信用できると思います。

奥本 そう言って頂けると本当にありがたいですね。実際に、ご理解頂いた上で大切なペットを預けてくださった飼い主様は、皆さんお喜びの声を聞かせてくださいます。毎月欠かさず会いに来られる方もいらっしゃいますし、中にはお中元・お歳暮としてペット用品を送ってくださる方も(笑)。

藤井 お預かり後も飼い主様が変わらずペットに愛情を注いでくださるのは、私たちとしても仕事冥利に尽きます。以前、老人ホームへ入るために愛猫を手放さざるを得なくなったおじいさんから猫をお預かりし、「この子を野良猫にしないで済んだ」との言葉をかけて頂いた時は、

私たちの存在意義を強く感じましたね。

1匹でも多くの命を守るために

杉田 少子高齢化が進む世の中、御社を必要とする人も増えるでしょうね。

奥本 需要の高まりは感じていますが、お客様の想いには確実に応えて行く所存です。先日も「飼い主のおばあちゃんが亡くなってしまったが子どもは飼うことができない」という案件を解決するために、熊本まで日帰りで引き取りに行きました。もちろん、交通費は自費です(笑)。

杉田 そこまでして預けるのなら、飼い主も安心してペットのことを任せられそうです。御社の存在が、今後たくさんの人に認知されることを願っています。

藤井 私たちの根底にあるのは、とにかく1匹でも多くのかけがえのない命を守るということ。同じ想いをお持ちで、けれど自分だけではどうにもならないという飼い主様がいらっやれば、ぜひ私たちに相談ください！